

日本人のふるさと観を探る

第3回 ふるさととは新しく創り、伝えていくもの？



このシリーズの第1回は万葉集から小林一茶までの詩歌を手掛かりに、
また第2回は「包容性」と「拒否性」というふるさとの二重性に揺れ動いた
4人の文学者(啄木、朔太郎、犀星、藤村)の足跡を辿りながら、探ってきました。
そのなかで、「私達は、今ふるさとをどう考えるか？」との問いに対して、
「ふるさととは新しく創り、伝えていくもの」でもあるのでは、との提言がありました。

今回は講師・牛丸仁さんの2作品を採り上げます。

『塗師の峠』は、伝統の漆器作りを通して村の再生に立ちあがった若い職人の話、

『夢の設計図』は、混迷する村文化の中、ふるさとの絆を作ろうと走り回る小学生が
描かれており、この提言を考えるのには格好の素材です。

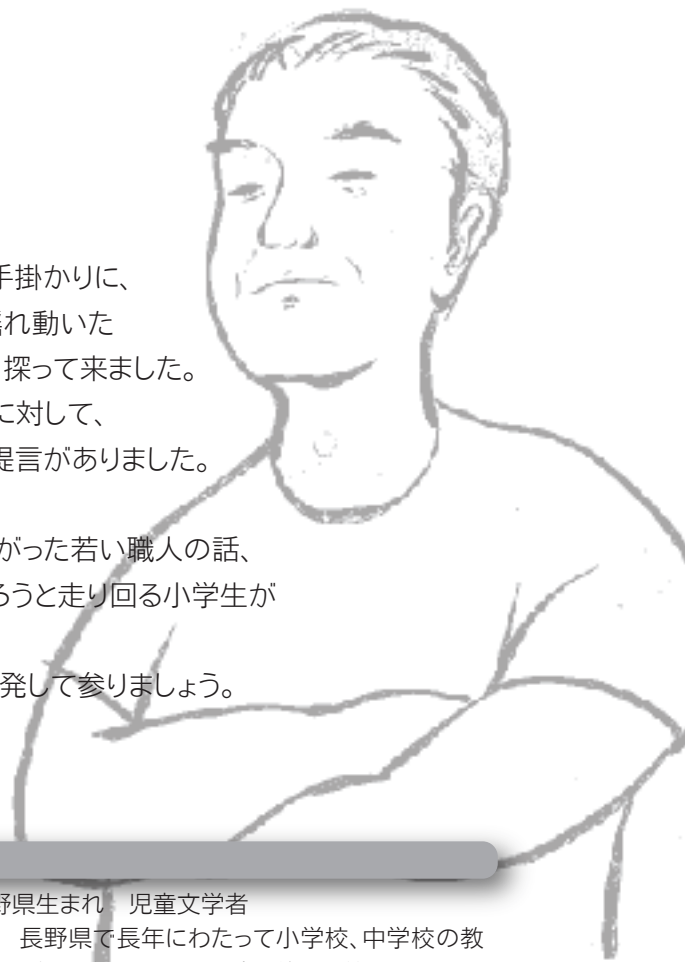
日本人の、そして私のふるさとを探す旅に、2011年新春も出発して参りましょう。

続けての方は勿論、初めての方も是非ご参加ください。

日 時 **1月16日 (日)**
PM.2:00~4:00

講 師 児童文学者 **牛丸 仁 氏**

参加費 **1,000円** (ドリンク付)



講師プロフィール

うしまる ひとし 1934年長野県生まれ 児童文学者
(日本児童文学者協会会員) 長野県で長年にわたって小学校、中学校の教
員生活(飯田、木曾などで校長も務める)を送る傍ら、精力的に執筆活動をし、
多くの児童文学作品を世に送り出した。

1987年、「風景」にて第10回塚原健二郎文学賞を受賞。

主な著書に、「風景」「夢の設計図」「巴御前」「島崎藤村」などがある。2010年10
月より、鈴鹿に居を構える。

会場・お問合せ・申込み先



鈴鹿カルチャーステーション

鈴鹿市阿古曾町14-28

TEL&FAX 059-389-6603

HP <http://www.scs-3.org>

E-mail scsoffice@scs-3.org

アクセス 近鉄「平田町」駅より徒歩15分・駐車場あり



新しい緑地 学び舎 エコステーション

